

コアー建築工房の家は、
経年変化の美をお楽しみいただけます。

一級建築士事務所
株式会社 **コアー建築工房**

木の家の一戸建ては

コアー建築工房



続篇はWEBで順次公開予定 ↓



時が経つにつれ、
それすらもこの家の一部になった。
この家に吹く風は、ぼくの中にずっと息づいている。
ぼくにはいつでも戻れる場所がある。
ただそれだけで、少し泣きそうになる。



柱にも、ぼくの心にも。
でも、そこに”確かにいる”ことが伝わってきた。
あのときついた傷は、今も残っている。

母が静かに本を読み、
父が黙ってスニーカーを磨いている。
言葉はない。

ある夜、ふと扉の隙間から光がもれていた。
母が静かに本を読み、
父が黙ってスニーカーを磨いている。

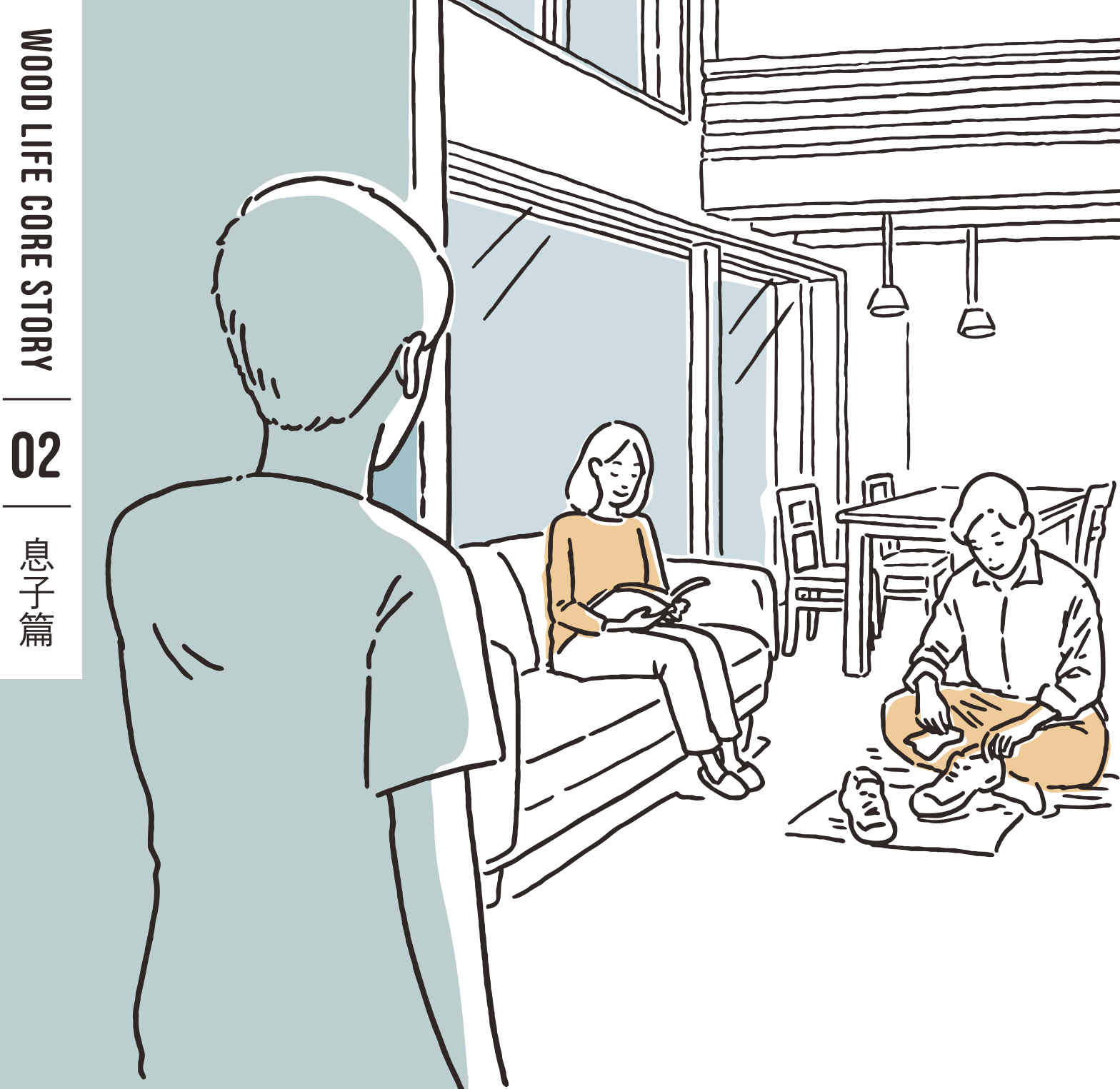
父も母も妹も、何も言わなかった。
何日も後悔したけど、
カップは木の柱にぶつかり、小さな傷が残った。

ある日、むしゃくしゃして
マグカップを壁に投げつけた。
ぼくの心だけがずっと寒かった。

家の中はあたたかいのに、
勉強のこと、友だちのこと、将来のこと。
積み重なるように増えていった。

リビングの光がまぶしすぎて、
ぼくはよく薄暗い部屋にこもっていた。

ぼくにはいつでも
戻れる場所がある。



WOOD LIFE CORE STORY

02

息子篇

携帯電話のご利用マナーにご協力ください。